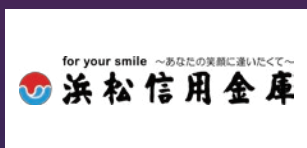


SendPro™ P2000  
導入事例

## User Profile



浜松信用金庫

所在地：  
浜松市中区元城町114番地の8  
設立：1950年4月10日  
出資金：12億9百万円  
(会員76,245人)  
役職員：1,054人  
(2016年3月31日現在)  
理事長：御室 健一郎

概要：1950年設立。浜松市、磐田市、袋井市、湖西市、掛川市、御前崎市、菊川市、豊橋市、牧之原市、島田市(旧川根町を除く)、周智郡、榛原郡吉田町に有人店舗58店舗(うち出張所1)を展開する、静岡県内預金量トップの信用金庫。2017年度より中期経営計画「活力共創Bank "はましん"」をスタート。お客様本位の新たなビジネスモデルの構築により、お客様との共通価値創出、お客様の喜びを通じた地域活力の創出の実現を目指している。

URL：  
<http://www.hamamatsu-shinkin.jp/>

# 浜松信用金庫 様

**BPR観点から事務処理業務を集中化、集計業務効率化を実現するため、郵便料金計器「SendPro P2000」を導入**  
**郵送物の料金算出と集計業務の大幅な時間短縮を実現すると共に、各店舗が接客や営業に集中できる環境整備を目指す**

静岡県内預金量トップを誇る、浜松信用金庫。BPR観点から、店舗での事務処理業務を集中化する取り組みを行っています。その中で、お客様に発送する多岐にわたる郵便物が月10,000通にも上り、発送に伴う処理および郵送費の部門別振り分けのための集計業務について、効率化が急務となりました。

そこでピツニーボウズの郵便料金計器を導入。事務集中課で行なう、各店舗からの郵送物の料金算出や郵便経費の管理、および集計業務の大幅な時間短縮を実現しました。

## 郵便業務を集中化、 郵便経費の集計業務効率化が課題

静岡県浜松市に本店を置く浜松信用金庫は、静岡県内預金量1位の信用金庫です。浜松市、磐田市、袋井市、湖西市、掛川市、御前崎市、菊川市、豊橋市、牧之原市、島田市(旧川根町を除く)、周智郡、榛原郡吉田町に有人店舗58店舗(うち出張所1)を展開。2019年2月をめどに、県内預金量4位の磐田信用金庫との対等合併が予定されています。平成29年度より中期経営計画「活力共創Bank "はましん"」をスタート。お客様本位の新たなビジネスモデル構築を通じたお客様との共通価値創出、お客様の喜びを通じた地域活力の創出の実現を目指す一方、2016年度よりライフデザイン部を創設して職員のワークライフバランスの向上、また、女性活躍推進にも注力しています。

業務サポート部 事務集中課のミッションは、各店舗、拠点で個別に対応している業務を巻き取り、効率化を図ることにあります。業務サポート部 事務集中課 課長の森和秀氏は、「全社のBPR (Business Process Re-engineering)の一環で2年ほど前にイノベーション推進部という組織ができ、業務を洗い出し、集中することで効率化を図る取り組みが加速しました。その中で、各店舗にお客様対応と営業活動に専念してもらうために、負荷の高い郵便業務の集中化を進めました。これまで大量に発生するDMなどの後納郵便は集中化していましたが、非定期に発生する郵便物や書留などはまだ、店舗側に残っていました。今回、ほぼすべての郵便物を集中化させるに

あたり、集計業務をいかに効率化できるか、が検討課題となったのです」と話します。

浜松信用金庫ではお客様への事務連絡、計算書、DMなど、多岐に渡る郵送物があります。ピークの月では16,000通、そのうちの営業店舗分が13,000通。そのほかの月でも、およそ10,000通程度が郵送処理されます。これまでは、郵送経費を各支店へ振り分けするための手作業集計業務に、日々30分から1時間、月末は2~3時間程度かかっていた。

## 郵便料金算出と集計業務を ほぼ自動化 日次、月末の集計業務時間も 大きく短縮

森氏は郵便物を自動で計量し料金を算出、金額の入ったスタンプが印字できる郵便料金計器を調べ、2社に絞って比較・検討。ピツニーボウズの郵便料金計器SendPro P2000を導入しました。決め手は大きく3つ、と次のように話します。「1つ目は、定形と定形外を一緒に流せる点。事前に分けてセットしなくても料金算出できるのは、大きなメリットです。2つ目は、ディスプレイ画面が大きく、集計までその機器で完結できる点。できるだけ部署内で業務が完結できる、シンプルなもの理想でした。3つ目は、集計作業の簡便さです。部門毎の集計表がデータとして提供されるので、従来2-3時間かかっていた処理が、数分で完了するようになりました。価格面でも機器単体で完結するためPCが不要な分、他社と比較して安価です。特に集計については、個別にシステ

# 浜松信用金庫 様

「ム開発する従来のやり方ではコストも期間もかかります。今後の展開を考慮して、ピツニーボウズ製品はIT部門の力を借りなくてもある程度、担当部門の力だけで導入可能なスタンドアロンパッケージソリューションである、ということに、大きな魅力を感じました」(森氏)

## トラブルも少なく安定稼働 オペレーション、 サポートにも満足

森氏と共に機器選定に携わった事務集中課 山崎吉史子氏は、展示会で実機を確認した際の印象と、導入してみてもの感想について「営業店から送られてくる郵便物の確認から、実際の郵便料金の処理と送付数のカウントが機械に通すだけの処理になるのは画期的だな、というのが第一印象です。手作業での集計作業も日々の金額に誤りがあると月末の確認にも非常に時間がかかっていましたが、導入後は機械化で料金算出とカウントが確実に became ことで、非常に楽になりました」と話します。

業務で実際にオペレーションする事務集中課 中村真梨氏は使い心地について「導入時、どのような操作が必要なのか不安もありましたが、ピツニーボウズや販売代理店の方の説明を受けてやってみると比較的、すぐに覚えられ安心しました。日々、業務処理を行うメンバーで試行錯誤をして、特殊なケースは全員で共有する、などの取り組みを続けています。誰でも使えるので常時、4~5名のメンバーがオペレーションしています。わからないことや不具合があると、フリーダイヤルでサポートしていただいています」と話します。

導入後も大きなトラブルはなく、稼働も安定しているとのこと。「これまで導入した機器と比較しても、稼働が多い割にトラブルは非常に少ない印象です」(森氏)

また、社内の反響について森氏は「経営企画メンバーから、ある程度使ってからではなく、すぐに費用対効果が現れる機器だね、とのコメントをいただけました」と話します。



## さらなる事務集中で店舗側が 接客や営業に集中できる 環境を目指す

人材確保が難しい折、浜松信用金庫でも定時での退庫を原則とし、残業時間抑制も進んでいます。その中で、さらなる業務効率化や時間短縮が求められています。「事務処理ではなく、接客や営業に集中できる環境を目指したい。今後は店舗側での切手の現物管理処理や、郵便局へ行く必要も、急ぎの場合を除けばなくす計画です。また、DMは大型のものは従来から外部委託していますが、1,000部以下程度の小口DMは店舗側の営業活動としてまだ残っており、その処理に負荷がかかっています。そこも集中化をたく、封入封かん機の導入を検討しています」(森氏)

2019年に計画されている合併により33店舗が増えるため、それにまつわる新たな事務集中も模索しておられる森氏。今後も費用対効果をしっかり見据えながら、業務効率化を実現する機器を導入していきたい、とピツニーボウズに対しての期待を寄せてくださいました。

SendPro™ P2000  
導入事例



業務サポート部 事務集中課 課長  
森 和秀 氏



業務サポート部 事務集中課  
山崎 吉史子 氏



業務サポート部 事務集中課  
中村 真梨 氏



ピツニーボウズジャパン株式会社  
〒140-0001  
東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー 12階  
TEL.03-5756-1200 FAX.03-3280-8900